

東地申 第52号  
2月21日 開催

## 「平成31年3月ダイヤ改正等について」の申し入れ【新宿運輸区】その1

【共通】 1. 交番作成の観点から遅日勤と早日勤を同数とすること。

(回答) 列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。

(組合) 遅日勤と早日勤を同数にすることは可能か。

(会社) 今回、中央線のダイヤ改正がある。新しいダイヤの中で効率的な行路作成を行った結果、提案の内容であり、その内容で進めている。

(組合) 単発の日があると前泊しなくてはならない。本区泊りもある中で、寢室の数は足りるのか。

(会社) 前泊する、しないは個人の判断である。今のところ寢室が足りないとは区所から聞いていない。

(組合) 寢室の工事が行われているが、寢室の数やレイアウトは把握しているのか。

(会社) 現時点では把握していない。必要な周知はしていく。

2. 拘束時間と乗務キロを平準化し、現行同様の枠数とすること。

(回答) 列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。

(組合) 改正後の差が大きい。

(会社) 中央線に関しては車掌の方で平準化が図られた。

**公平感があり、働きやすい行路設定を求めろ!**

(組合) 900キロを超える行路が増えている。

(会社) 900キロという数字が長い、短いという境界線だという認識はない。

(組合) 休日は「はちおうじ」が運休になり行路のバランスが悪くなる。働きやすい行路設定をするべきだ。

(会社) もちろん、働きやすさを考慮しながら行路設定していく。

【運転士】 1. 中央線を担当しない根拠を明らかにすると共に、今後の展望を示すこと。

(回答) 今後の相模鉄道(株)との相互直通運転開始に伴い、乗務担当線区の見直しを行ったものである。

(組合) 根拠と今後の展望について具体的に明らかにすること。

(会社) 回答の通りだが、新宿運輸区の運転士が中央線を担当したのは再編に伴ったものだ。新宿運輸区に限らず輸送改善や環境の変化に応じて担当線区の変更を行ってきた。今回、相鉄線との相互直通運転に伴い担当線区の見直しを行った。

(組合) 輸送混乱などの対応に必要なから中央線を担当してきたと認識している。担当しなくなるということは課題が解消されたということか。

(会社) 区所があれば良い形なのかもしれないが、安定性を考える上でカバーできる環境であれば問題ない。東部入換の線見を他区所で進めている。新宿運輸区が担当はしなくなるが、中央線特急のところは問題ない。

(組合) 今後は、東部入換を担当しないのか。

(会社) 区所と議論しているが、乗務員疾病や異常時には指導担当が入換を担当するように調整している。

(組合) 今後、指導担当に入る乗務員には訓練は行うのか。(会社) 必要な訓練は実施していく。

2. 1007行路の拘束時間が長いため出勤時刻を8時30分以降とすること。

(回答) 列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。

(組合) 行路を持ち替えることは可能か。

(会社) 区所内で持ち替えることは問題ないが困難だ。他の行路とのバランスを見ると今の形が望ましい。

(組合) 次期改正までを見据えると出勤時間を下げるように他支社含めて調整出来ないのか。

(会社) 他支社含めて検討は出来るが、他の区所の影響も見なくてはいけない。

**働きがいの実感できるダイヤ改正を職場からのたたかいでつくり出そう! その2へ続く**